

(個別研修) 鳥居いづみ

**研修テーマ：知的障害を持つ人が地域で暮らすための環境整備とサービス提供について
ーサービス提供分野の垣根を超えた連携、地域とのつながりー**

研修地：ドイツ ヘッセン州 ヘルプシュタイン・シュトゥックハウゼン、アルテンシュリーフ

研修施設：Gemeinschaft Altenschlirf (人智学共同体、障害者支援団体)

研修日：5月15日～6月20日

【木工部門 (Holzwerkstatt)】(6月5日～6月10日)

商品内容：キッチン、家具 (ベッド、棚等)、階段等 (以上、注文に応じて)

朝食用プレート、まな板、お盆、家族療法用フィギュア、花瓶、カードホルダー等

設備等：機械室、作業室 (家具製作、やすり、オイル) キッチン、木材乾燥室、製品倉庫、事務室 2

- ・室内作業としては最大の部門で、障害のある人の支援度は様々 (支えがないと歩行困難、発語がほとんどない方もいる)
 - ・職員は、家具職人として職業指導、家具製作にあっている人が5人、福祉職として勤務しているのが3人、その他職業訓練中の若者も勤務している。
 - ・利用者の中には、機械を使って木を切ったり、磨いたりすることのできる人もいます。支援度の高い人は、紙やすりで材料を磨くのが主な仕事。
 - ・一部商品は、ドイツ国内でキッチン雑貨を売る manufacturer のウェブサイトでも購入できる。
 - ・家族療法用のフィギュアは、毎月決まった数を出荷している。
- なお、アウトレット品は、心理学専攻の学生が練習用として買っていきそうである。



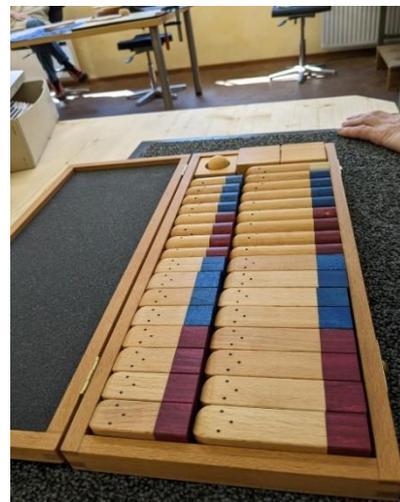
売店内に並ぶトレイ等



木材乾燥室



製作途中の家具



セラピー用フィギュア